

「乳幼児健診情報の利活用方法に関する研修会」実施に関する報告

研究代表者 山縣 然太郎（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
研究協力者 篠原 亮次（健康科学大学健康科学部）
研究分担者 吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学看護学科）
研究分担者 上原 里程（埼玉県立大学健康開発学科健康行動科学専攻）
研究協力者 横山 徹爾（国立保健医療科学院生涯健康研究部）
研究協力者 田中 太一郎（東邦大学健康推進センター）
研究協力者 佐々木 溪円（横浜創英大学こども教育学部）
研究協力者 大澤 絵里（国立保健医療科学院国際協力研究部）
研究協力者 杉浦 和子（名古屋市立大学大学院看護学研究科）
研究協力者 三瓶 舞紀子（国立成育医療研究センター社会医学研究部）
研究協力者 大岡 忠生（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）
研究協力者 山崎 さやか（健康科学大学看護学部）
研究協力者 秋山 有佳（山梨大学大学院総合研究部医学域社会医学講座）

平成 25 年度に実施された「健やか親子 2 1」の最終評価等に関する検討会において、母子保健事業母子保健情報の利活用は不十分と評価された。この結果を受け、平成 27 年度から開始された「健やか親子 2 1（第 2 次）」では、母子保健事業の推進に当たっては、事業で把握した情報を分析し、施策の取組状況の評価することの重要性を示している。そこで本研究班では、市区町村、都道府県の母子保健担当者が、自治体で保有しているデータを利活用する意義と集計や分析の方法、結果から得られた情報を解釈できるようになることを目的とした研修会を開催することとした。

研修会は、平成 30 年 3 月 5 日（月）に沖縄会場で、3 月 10 日（土）に東京会場で実施することとした。研修会内容は、情報の利活用の意義等に関する講演と、実際にエクセルを使用して分析過程を体験する演習とした。講師は、本研究班研究代表の山縣然太郎（山梨大学）が講演部分を担当し、演習部分は本研究班研究協力者の篠原亮次（健康科学大学）が担当することとした。

参加者は、沖縄会場では 63 人（事前申込 68 人）、東京会場では 74 人（事前申込 74 人）であった。アンケート結果より、講義及び演習のいずれも約 90%が分かりやすかった、理解できたと回答しており、満足度は高い内容であったと考えられる。今後は、今回の研修会内容とアンケートの記述部分の意見を参考に、どのような研修会がより効果的か研究班で検討していく必要がある。

A. 研究目的

平成 25 年度に実施された「健やか親子 2 1」

の最終評価等に関する検討会において、母子保

健事業母子保健情報の利活用は不十分と評価

された¹⁾。また、現状課題としては「問診内容等情報の地方公共団体間の比較が困難なこと」、「情報の分析・活用ができていない地方公共団体があること」、「関連機関の間での情報共有が不十分なこと」という3点が挙げられた¹⁾。これらの課題を受け、平成27年度から開始された「健やか親子21（第2次）」では、母子保健事業の推進に当たっては、事業で把握した情報を分析し、施策の取組状況を評価することの重要性を示している。また、地方公共団体間の健康格差が課題として指摘されており、その解消に向けては、都道府県・県型保健所・市区町村それぞれにPDCAサイクルで母子保健事業を実施することの必要性が示されている。

そこで本研究班では、市区町村、都道府県の母子保健担当者が、自治体で保有しているデータを利活用する意義と集計や分析の方法、結果から得られた情報を解釈できるようになることを目的とした研修会を開催することとした。

B. 研究方法

本研修会は、平成30年3月5日（月）と10日（土）に沖縄県と東京都での実施を検討した。予定した研修会の日程、内容は以下の通りである。

1. 都道府県、自治体への周知

研修会に関する情報の周知は、平成30年2月16日付で厚生労働省母子保健課より、各都道府県・保健所設置市・特別区の母子保健担当部（局）へ、本研究班作成の研修会案内および申込書（資料1）と共に各自治体への周知依頼が発信された。

2. 開催日時および場所

【沖縄会場】

日時：平成30年3月5日（月）

10：00～16：00

場所：沖縄小児保健センター3階ホール

【東京会場】

日時：平成30年3月10日（土）

10：00～16：00

場所：TKP日本橋カンファレンスセンター

ホール2A

3. 内容

本研修会の構成は、情報の利活用の意義等に関する講演と、実際にエクセルを使用して分析過程を体験する演習とした。講師は、本研究班研究代表の山縣然太朗（山梨大学）が講演部分を担当し、演習部分は本研究班研究協力者の篠原亮次（健康科学大学）が担当するとした。また、演習時のサポート講師として、本研究班の研究分担者および研究協力者を加えることとした。なお、研修会実施窓口となる事務局は研究協力者の秋山有佳（山梨大学）が担当することとした。

予定した研修会内容を以下に記す。

【午前】

・10：00～11：00

講演：個人データを利活用することのメリットとその意義（山縣）

・11：00～12：00

演習：エクセルを使用した演習（記述統計）
なぜ全国値や自治体との比較をする必要があるのでしょうか？（篠原）

演習：エクセルを使用した演習（クロス集計と関連する解釈の仕方）

自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！（篠原）
※途中まで

【午後】

・13：00～16：00

演習：エクセルを使用した演習（クロス集計と関連する解釈の仕方）

自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！（篠原）
※途中から

4. 研修会に関するアンケートの実施・集計

研修会の内容についてと参加者の理解度を尋ねるアンケートを作成し、研修会実施時に配布し、集計することとした（資料2）。

C. 研究結果

研修会当日は、日時、場所、内容はいずれも予定通り実施した。

参加者は、沖縄会場では63人（事前申込68人）、東京会場では74人（事前申込74人）であった。参加者の所属の内訳は以下の通りである。

《内訳》

【沖縄会場】

- ・都道府県：1人
- ・保健所：11人
- ・市町村：45人
- ・その他：5人

【東京会場】

- ・都道府県：5人
- ・保健所：1人
- ・市区町村：68人

また、演習時のサポート講師として、各会場以下の研究協力者が参加した。

【沖縄会場】

- ・吉田穂波（神奈川県立保健福祉大学）
- ・横山徹爾（国立保健医療科学院）
- ・田中太一郎（東邦大学）
- ・大岡忠生（山梨大学）

- ・秋山有佳（山梨大学）

【東京会場】

- ・上原里程（埼玉大学）
- ・吉田穂波（神奈川県立保健福祉大学）
- ・佐々木溪円（横浜創英大学）
- ・大澤絵里（国立保健医療科学院）
- ・杉浦和子（名古屋市立大学）
- ・三瓶舞紀子（国立成育医療研究センター）
- ・山崎さやか（健康科学大学）
- ・秋山有佳（山梨大学）

1. 当日実施の研修会内容の詳細

【午前 10：00～11：00】

講演：個人データを利活用することのメリットとその意義（山縣）

《研修会の目標》

本研修会での目標は以下の通りとした。

- ・GIO（一般目標）
母子保健活動の向上のために、母子保健情報の利活用の重要性を理解し、実践できる。
- ・SBOs（行動目標）
 - 1) 母子保健活動の向上のために、母子保健情報の利活用の重要性を理解し、実践できる。
 - 2) 乳幼児健診データの個別データ解析、縦断データ解析の重要性を説明できる。
 - 3) 乳幼児健診入力システムを活用できる。
 - 4) 乳幼児健診の個別データをエクセルで解析できる。

《内容》

内容は以下の6点をポイントに講義を行った。

- 1) 乳幼児健診のデータ活用
- 2) なぜ、個別データの活用が必要なのか
- 3) なぜ、縦断データの活用が必要なのか
- 4) 母子保健活動にはどのような情報が必要か

- 5) 乳幼児健診入力システムによる情報の利活用
- 6) 健やか親子21（第2次）における乳幼児健診の位置づけ

上記6点を含む実際の講義内容は以下の通りである。

データの利活用方法として、集計値を用いる場合と個人データを用いて行う場合がある。地域の状況把握は、集計値である程度分析可能だが、地域の課題の要因分析をするためには集計値のみではそれ以上の分析ができないため個人データが必要である。また、市区町村、都道府県、国には各々の役割があり、そこでも個人データは必要である。市区町村では、各自治体の調査の精度管理や、事業の評価に縦断的なデータを用いて分析する必要がある。都道府県では、管内市区町村の地域格差やその要因分析と改善方法の分析等を行う。また、国としては、都道府県格差の分析や、その要因の解明、オールジャパンとしての分析、国際比較という役割があるが、これらにも個人データは必要である。

収集データの種類には横断データと縦断データがある。横断データは、単年度やある一時点の情報を収集するものである。横断データは、情報間の時間的な関係に乏しい、関連性の有無、現状把握、経年変化などに使用されている。一方、縦断データは、情報間の時間的な関係がわかり、個人の時間的な変化などを分析することができることを説明した。

データの入力、集計等の作業には、各自治体で各々のシステムを導入しているところもある。導入していない場合には、本研究班が平成27年度に開発した「乳幼児健診情報システム」があり、その活用方法を説明した。なお、操作方法は次の演習で説明した。

【午前 11:00~12:00】

演習：エクセルを使用した演習（記述統計）
なぜ全国値や自治体との比較をする必要があるのでしょうか？（篠原）

演習：エクセルを使用した演習（クロス集計と関連する解釈の仕方）

自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！（篠原）

※途中まで

《内容》

午前中の演習では、以下の3点について講義と演習を行った。

- 1) なぜ全国値や他の自治体との比較をする必要があるのか？
 - (1) P D C A と戦略
 - (2) 結果の示し方
 - (3) 課題と優先順位
- 2) エクセルでできる記述統計
 - (1) 分析手段と方法
 - (2) 演習
- 3) 自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！
 - (1) なぜクロス集計と関連検討が必要か？
 - (2) ピボットテーブルを使用した集計方法
 - (3) 結果の解釈

- 1) なぜ全国値や他の自治体との比較をする必要があるのか？

事業を展開していくために重要なP D C A サイクルについての説明、および事業評価時に必要である分析方法とその結果の示し方を解説した。分析方法としては、地域間比較、年次比較、人の属性による比較、課題間の比較、そして、事業前後や事業参加群と非参加群の比較について説明した。結果の示し方としては、棒

グラフ、折れ線グラフ、円グラフ、帯グラフ、散布図について、どのような時に用いるかを開設した。また、地域診断等の結果から見えてきた課題の優先順位については、母子保健担当者が日頃気になっている事柄で心身の健康に特に重要、かつ介入可能なもの、もしくは、地域のニーズに見合っているもの、評価可能なもの、国や県のデータと比較可能なもの、等で判断することを説明した。

2) エクセルでできる記述統計

データの種類には量的データと質的データがあること、データ入力時の注意事項等の説明を行った。また、先の講義で出てきた乳幼児健診情報システムについてのもう少し詳細な構造と、デモデータを使用しての演習を行った。

3) 自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！

課題の背景、要因を調べるためには、個人データを用いて分析する必要がある。その方法の一つとしてクロス表があり、エクセルに搭載されているピボットテーブルを用いた集計方法やクロス表の作成方法の演習を行った。さらに、作成したクロス表の解釈の仕方を解説した。

【午後 13:00~16:00】

演習:エクセルを使用した演習(クロス集計と関連する解釈の仕方)

自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！(篠原)
※途中から

《内容》

4) 演習:自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか

調べてみましょう！(篠原)

(1) データの準備

(2) 演習(グループワーク)

5) 発表とまとめ(山縣)

(1) グループ発表

(2) 本日のまとめ

4) 演習:自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！(篠原)

10 グループに分かれ、各グループでクロス集計表の作成、結果の解釈、課題抽出、実現可能性を考慮した事業展開の検討、という一連の流れを実施した。進行には、各グループにサポート講師が入り、演習の流れの説明および不明点のサポートにあたった。分析に使用したデータは、各自治体で持参したもの、もしくはデモデータを使用した。

5) 発表とまとめ(山縣)

グループごとにどのような項目でクロス表を作成、解釈し、どのような事業を考えたかを発表してもらった。その後、全体から午前午後を通しての質疑応答を行った。

2. 研修会に関するアンケートの実施・集計

研修会時に配布回収したアンケートは、沖縄会場では52名から、東京会場では72名から回答が得られた。アンケートの集計結果を資料3に示す。

本研修会参加者の多くは市区町村からであり、両会場とも約80%を占めていた。また、参加者のほとんどが保健師であった。

また、講義内容の分かりやすさに関しては「とても分かりやすかった」と「分かりやすかった」を合わせると約90%以上と高評価であった。講義内容の理解度についても両会場で約

90%以上が「よく理解できた」「理解できた」という回答が得られた。

本研修会で参加者が学びたいと思っていたことが学べたか、本研修会内容が明日からの業務に役立つか、という問いにも約 90%の人から「はい」との回答を得られた。

D. 考察

本研修会は、都道府県および市区町村の母子保健担当者が日々の母子保健業務の中で収集している乳幼児健診データの利活用の意義および方法について、講義と演習を交えて実施した。実施後のアンケート結果から、沖縄会場および東京会場の両会場とも参加者の満足度は高いものであった。

一方で、アンケートの結果では、講義や演習内容が分かりづらく理解できなかった、学びたいと思っていたことが学べなかったとの回答者も約 10%おり、これは、アンケートの記述部分から推察すると、パソコン操作についていけなかった方や、逆に検定等のもう少し難易度が高いものを期待して参加された方がいると考えられる。ついていけない人に対しては、サポート講師がいたが、目が行き届かなかった可能性が考えられ、改善の必要があると感じた。また、難易度が高い研修会を希望されている人もいようであれば、今後は難易度別、または基礎から応用までのシリーズ化した研修会の開催が望ましいのかもしれない。また、現場の母子保健担当者は、2~3年という短い期間で異動があるため慣れてきたころに新しい担当へと変わり、データ利活用の意義や技術の継承が難しい可能性も考えられることから、毎年、定期的に同じような研修会を実施することで、母子保健に関するデータの利活用が推進されることが期待される。今後の研修会については、研究班で検討していく予定である。

E. 結論

本研修会は、都道府県および市区町村の母子保健担当者を対象に、日々の母子保健業務の中で収集している乳幼児健診データを用いて、情報の利活用の意義とその方法についての講義と演習を行った。演習では特別な統計ソフト等を使うのではなく、実際に多くの人が日常的に使用しているエクセルを用いた。分析にはエクセルに搭載されているピボットテーブルを用いて、実際のデータで体験学習することで、自分たちでもできるという感覚や今後の業務への活用方法を理解頂けたと考えられる。今後は、研究班でどのような研修会がより効果的か検討していく必要がある。

【参考文献】

- 1) 「健やか親子21」最終評価報告書、「健やか親子21」の最終評価等に関する検討会。平成25年11月。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

乳幼児健診情報の利活用方法に関する研修会のご案内

平成 27 年度から「健やか親子 21（第 2 次）」が開始されていますが、その中で、母子保健事業の推進に当たっては、事業で把握した情報を分析し、施策の取組状況を評価することの重要性が示されています。また、地方公共団体間の健康格差が課題として指摘されており、その解消に向けては、都道府県・県型保健所・市町村それぞれに P D C A サイクルで母子保健事業を実施することの必要性が示されています。

本研究班では、母子保健情報の利活用の推進をすることを目的に研究をしております。今後、自治体向けのガイドラインを作成する予定としています。今回は、市町村、都道府県の母子保健担当者が、自治体で保有しているデータを利活用する意義と集計や分析の方法、結果から得られた情報を解釈できるようになることを目的に、研修を開催することとしました。

【研修会テーマ】

エクセルでできる！乳幼児健診情報の利活用方法

～データはいっぱいあるけど何をどう使ったらいいのかわからない！そんなあなたに伝授します！

埋もれているデータの利活用実践方法と健康施策に活かす秘訣！～

【内容】

時間	講義テーマ・講師
10：00～11：00	講義：個人データを利活用することのメリットとその意義 講師：山縣 然太郎（山梨大学）
11：00～12：00	演習：エクセルを使用した演習（記述統計） なぜ全国値や自治体との比較をする必要があるのでしょうか？ 講師：篠原 亮次（健康科学大学）
12：00～13：00	昼休み
13：00～16：00 ※途中休憩含む	演習：エクセルを使用した演習（クロス集計と関連に関する解釈の仕方） 自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！ 講師：篠原 亮次（健康科学大学）

技術サポート講師：横山 徹爾（国立保健医療科学院）、吉田 穂波（神奈川県立保健福祉大学）
田中 太郎（東邦大学）、大岡 忠生（山梨大学）、秋山 有佳（山梨大学）

【開催日および会場】

- 東京会場：平成 30 年 3 月 10 日（土）受付開始時間 9：30
TKP 日本橋カンファレンスセンター ホール 2A 〒103-0028 東京都中央区八重洲 1-2-16
最寄駅：日本橋駅（東京メトロ東西線、銀座線、都営浅草線）、JR 東京駅
- 沖縄会場：平成 30 年 3 月 5 日（月）受付開始時間 9：30
沖縄小児保健センター3 階ホール 〒901-1105 沖縄県島尻郡南風原町新川 218-11
最寄駅：那覇インターチェンジから 1km、県立医療センター東口（バス）から徒歩 2 分

【対象者】

市町村及び都道府県の母子保健事業に携わる保健師、栄養士、事務職等、関連職種。

※乳幼児健診情報システムで収集したデータを研究班へご提供いただいた自治体を優先させていただきます。

※定員超過した場合は、参加者調整をさせていただきます。

【お申込み】

- ・別紙の申込書に必要事項をご記入の上、メールまたは FAX にてお申し込みください。
- ・申し込み締め切りは、平成 30 年 2 月 28 日（水）17：00 までとさせていただきます。

【連絡事項】

- ・参加費は無料です。
- ・パソコンはひとり 1 台です。東京会場は主催者側で用意します。沖縄会場はパソコンをご持参下さい。
- ・乳幼児健診情報システム等で収集している乳幼児健診必須問診項目（15 項目）の個人データをご持参ください。ご持参が難しい場合は、主催者側でデモデータを用意いたしますのでこちらをご使用ください。

【問い合わせ先】 山梨大学大学院 総合研究部 医学域 基礎医学系 社会医学講座 担当：秋山
TEL：055-273-9566 FAX：055-273-7882 E-mail：boshidat@yamanashi.ac.jp

FAX : 055-273-7882

山梨大学大学院総合研究部 医学域 基礎医学系
社会医学講座 秋山 宛
E-mail : boshidat@yamanashi.ac.jp

乳幼児健診情報の利活用方法 研修会申込書

この用紙を FAX またはメール添付にてご返信ください。

※以下の項目についてご記入ください。

ふりがな		
氏 名		女 ・ 男
勤務先名		
勤 務 先 ご連絡先	☎電話 ()	☎ Fax. ()
職 種	保健師・助産師・看護師・医師・管理栄養士・栄養士・保育士 薬剤師・事務職・その他 ()	
乳幼児健診情報シ ステム使用の有無	乳幼児健診情報システムを普段から使用されていますか？(数字に○をつけて下さい) 1. 普段から使用している 2. 都道府県または国への結果報告時のみ使用している 3. 使用していない	
研修会での 使用データ	研修会で使用する予定のデータについて教えてください。(数字に○をつけて下さい) 1. 自分の自治体のデータ (各自ご持参ください) 2. 主催者側で用意するデモデータ	
受講動機を ご記入ください。		

※受講申込書にご記入いただいた情報は責任をもって管理し、研修会実施のためだけに使用いたします。

※乳幼児健診情報システムとは、山縣班で作成し配布をしているシステムのことを指します。

お問い合わせ先

山梨大学大学院 総合研究部 医学域 基礎医学系 社会医学講座 担当: 秋山
TEL 055-273-9566 FAX 055-273-7882 E-mail: boshidat@yamanashi.ac.jp



乳幼児健診情報の利活用方法に関する研修会 アンケート

本日は、「乳幼児健診情報利活用方法に関する研修会」にご参加いただき、誠にありがとうございました。本研修会を受講されての皆様のご感想をお聞かせください。いただいたご意見は、来年度以降の研修会実施に向けての貴重な情報とさせていただきます。また、本アンケートでいただきました情報は責任をもって管理し、本事業のためだけに使用いたします。

1. あなたの所属機関についてお教えてください。

- ①都道府県庁 ②保健所 ③市区町村

2. あなたの職種をお教えてください。

- ①保健師 ②助産師 ③看護師 ④医師 ⑤管理栄養士・栄養士
⑥薬剤師 ⑦歯科衛生士 ⑧事務職 ⑨その他（ ）

3-1. 講義「個人データを利活用することのメリットとその意義」の話は分かりやすかったですか？

- ①とても分かりやすかった ②分かりやすかった ③分かりにくかった ④とても分かりにくかった

3-2. 講義「個人データを利活用することのメリットとその意義」の内容は理解できましたか？

- ①よく理解できた ②理解できた ③理解できなかった ④全く理解できなかった

4-1. 演習「なぜ全国値や他の自治体との比較をする必要があるのでしょうか？」の内容は分かりやすかったですか？

- ①とても分かりやすかった ②分かりやすかった ③分かりにくかった ④とても分かりにくかった

4-2. 演習「なぜ全国値や自治体との比較をする必要があるのでしょうか？」の内容は理解できましたか？

- ①よく理解できた ②理解できた ③理解できなかった ④全く理解できなかった

5-1. 演習「自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！」の内容は分かりやすかったですか？

- ①とても分かりやすかった ②分かりやすかった ③分かりにくかった ④とても分かりにくかった

5-2. 演習「自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！」の内容は理解できましたか？

- ①よく理解できた ②理解できた ③理解できなかった ④全く理解できなかった

6. 本研修会で、あなたが学びたいと思っていたことを学ぶことができましたか？

- ①はい ②いいえ ③どちらともいえない

7. 本日の研修で学んだ内容は、明日からの業務に役立ちますか？

- ①はい ②いいえ ③どちらともいえない

8. 今後、あったらよいと思う研修会の内容をお教えてください。

9. 本研修会の感想をお聞かせください。



ご協力ありがとうございました。

山縣班研修会 アンケート集計結果

1. あなたの所属機関について教えてください。

	①都道府県庁		②保健所		③市区町村		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	0	0	12	23	40	77	52	100
東京会場	5	7	9	13	58	81	72	100

2. あなたの職種を教えてください。

	①保健師		②助産師		③看護師		④医師		⑤管理栄養士・栄養士	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	40	77	0	0	0	0	0	0	6	12
東京会場	67	93	0	0	0	0	0	0	0	0

	⑥薬剤師		⑦歯科衛生士		⑧事務職		⑨その他		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
	0	0	0	0	6	12	0	0	52	100
	0	0	2	3	3	4	0	0	72	100

3-1. 講義「個人データを利活用することのメリットとその意義」の話は分かりやすかったですか？

	①とても分かりやすかった		②分かりやすかった		③分かりにくかった		④とても分かりにくかった		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	28	54	23	44	1	2	0	0	52	100
東京会場	43	60	27	38	0	0	0	0	72	100

3-2. 講義「個人データを利活用することのメリットとその意義」の内容は理解できましたか？

	①よく理解できた		②理解できた		③理解できなかった		④全く理解できなかった		無回答		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	25	48	26	50	1	2	0	0	0	0	52	100
東京会場	39	54	30	42	1	1	0	0	2	3	72	100

4-1. 演習「なぜ全国値や他の自治体との比較をする必要があるのでしょうか？」の内容は分かりやすかったですか？

	①とても分かりやすかった		②分かりやすかった		③分かりにくかった		④とても分かりにくかった		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	26	50	25	48	1	2	0	0	52	100
東京会場	39	54	33	46	0	0	0	0	72	100

4-2. 演習「なぜ全国値や他の自治体との比較をする必要があるのでしょうか？」の内容は理解できましたか？

	①よく理解できた		②理解できた		③理解できなかった		④全く理解できなかった		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	22	42	28	54	2	4	0	0	52	100
東京会場	36	50	35	49	1	1	0	0	72	100

5-1. 演習「自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！」の内容は分かりやすかったですか？

	①とても分かりやすかった		②分かりやすかった		③分かりにくかった		④とても分かりにくかった		無回答		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	23	44	25	48	3	6	1	2	0	0	52	100
東京会場	29	40	38	53	3	4	0	0	2	3	72	100

5-2. 演習「自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！」の内容は理解できましたか？

	①よく理解できた		②理解できた		③理解できなかった		④全く理解できなかった		無回答		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	16	31	32	62	4	8	0	0	0	0	52	100
東京会場	26	36	43	60	1	1	0	0	2	3	72	100

6. 研修会で、あなたが学びたいと思っていたことを学ぶことができましたか？

	①はい		②いいえ		③どちらともいえない		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	47	90	1	2	4	8	52	100
東京会場	63	88	0	0	9	13	72	100

7. 本日の研修会で学んだ内容は、明日からの業務に役立ちますか？

	①はい		②いいえ		③どちらともいえない		合計	
	n	%	n	%	n	%	n	%
沖縄会場	49	94	0	0	3	6	52	100
東京会場	65	90	0	0	7	10	72	100

8. 今後、あったらよいと思う研修会の内容を教えてください。

- ・複数データを使うときの分析方法など学びたい。今後もこのような研修があればありがたい。
- ・母子手帳交付時のアンケートの集計の仕方。
- ・データ活用、個人データの突合やどんなものを突合するといいか、また情報交換できたらと思いました。
- ・予防接種に関するもの
- ・色々聞き取りをしていることが多く、常に数で出せないことで子、会っている。簡単に集計できるアンケートの作り方。
- ・今日のようなデータの活用の仕方をどんどん広めていくのもいいと思いました。保健師もデータ分析は基本のはずなのに、スキルがないから（？）必要性は分かっているやろうとせず日々の業務が忙しいので…と避けていると思います。
- ・データの集計（このような）→読み取りについて
- ・データのよみ方
- ・統計の学習をもっとやりたいです。（レベルアップ編を希望します）
- ・何度かこのような研修を開催して欲しい。
- ・人口規模が同じ自治体同士が傾向比較をできたりするならGWも合わせて行ってもらえると良いです。このような情勢や動きについて学べる研修があると良いです。エクセルの説明なしで、研修のみというのもステップアップであると良いです。
- ・既に各市町村のデータを活用して分析しているものを持ちあい、その考え方について学べることができるとよいと思いました。
- ・保健実務に応用できる統計学、検定手法（エクセルを使った）
- ・これからも統計の研修があるといい。ベテランが多い市なので、データをあまり作っていないので…

- ・地方でもこの様な研修があったら良い。
- ・統計についての研修
- ・統計について他の方法も教えていただきたいです。
- ・もっとデータの分析の方法、見方、考え方を実践しながら積み重ねていく研修の機会があればと思います。
- ・統計。市町村の事例など、それぞれの研修会の中に組入れてほしい。
- ・分析をさらに深め、ディスカッションできる時間、情報交換ができると良い。
- ・乳幼児健診における M-chat の活用方法についての研修。東京だけではなく関西でも開催して欲しい。
- ・今回のような演習を交えた研修、またやって欲しいです。
- ・このデータをどうみて、どう深めていか考える時間をつくる研修があればと思います。
- ・データの分析から政策に活かす内容。より詳しい演習があると嬉しいです。
- ・データを分析して事業に繋げる手法は現場でゆっくりできないので、研修で実践できるとイメージできるので、講義のみではなく実践できるものだとすぐに活かせる
- ・統計データの見方や統計解析ソフト（SPSS など）の使い方について
- ・データの比較
- ・同様の研修がまたあると嬉しいです。
- ・データ分析の研修をもっと実施してもらおうと勉強になります。
- ・もう少し今回の利活用の部分を深められる研修
- ・すこやか親子の項目ばかりではなく、要支援者のフォローアップの評価についても具体的方法を知りたい

9. 本研修会の感想をお聞かせください。

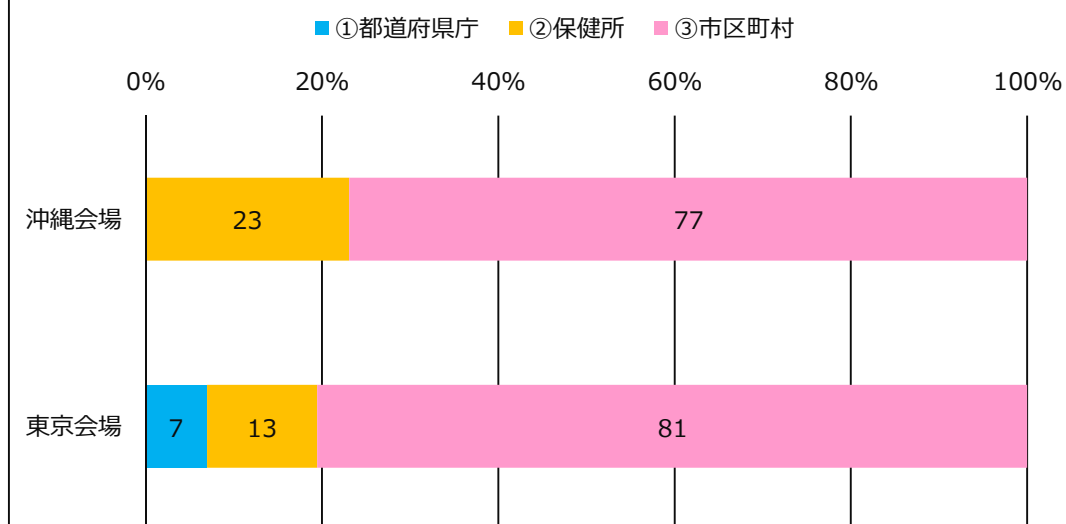
- ・データを分析するため本を読んで勉強したり…でしたが、細かい部分が力任せでやっていたところもあったので、今日の学びはとても明日から役立つものでした。ありがとうございました。
- ・先生がおっしゃった様に明日職場で、早速関係のみんなに教えたいと思いました。ありがとうございました。
- ・ピポットテーブルの使い方について学べて、自信の業務に活かそうです。
- ・実際にデータを使用した演習があったので、今後活用しやすいと思いました。
- ・今日学んだデータの見方や分析の視点を持って、市町村の状況を分析し、今後の母子保健について市と考えていきたい。
- ・島ということもあり少人数すぎてデータを分析できなかったのですが、人数を数年分まとめて行ってみようと思いました。
- ・楽しかったです。時間がもう少しほしかった。
- ・初めて知る内容だったので勉強になりました。
- ・とても分かりやすく理解することができました。しかし、自分の知識、経験不足もあり、データを出してどう見える化して、分析し、地域の特徴を見つけ母子保健活動に活かしていきたいです。そして、人に教えていきたいと思います
- ・母子データ分析方法、予防の面からとても重要だと思うので、今回参加できてとても良かったです。また、グループワークで他の市町村の方と話ができて、分析したデータの情報交換できてデータの特徴がつかみやすくなりました。”人に教える”→身につく！実践しようと思いました。
- ・Q5-2 もう少しじっくりやりたかった。何とクロスさせるか、その結果をどうとらえるか、その反映となるものを考えることは難しいと思いました。これからの課題となります。
- ・エクセルの利用の幅が広がったと思います。独自のデータも是非やってみたい。
- ・学ぶことが多くありました。ありがとうございました。
- ・ピポットテーブルなど今まで難しそうだと触っていなかったエクセルの機能が思ったより簡単に使えたので、持ち帰って活用してみたいと思いました。原因を考えるのが難しいが、クロス集計をすることで気付く、考えるきっかけになると感じました。
- ・今までやり方を知らずに時間を費やしていました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・一つ一つのデータ（数値）の大切さが分かりました。アンケートや問診票など空白がないようしっかりデータを取るという意識づけ

になりました。早速、研修で得たことを明日から実践していこうと思います。

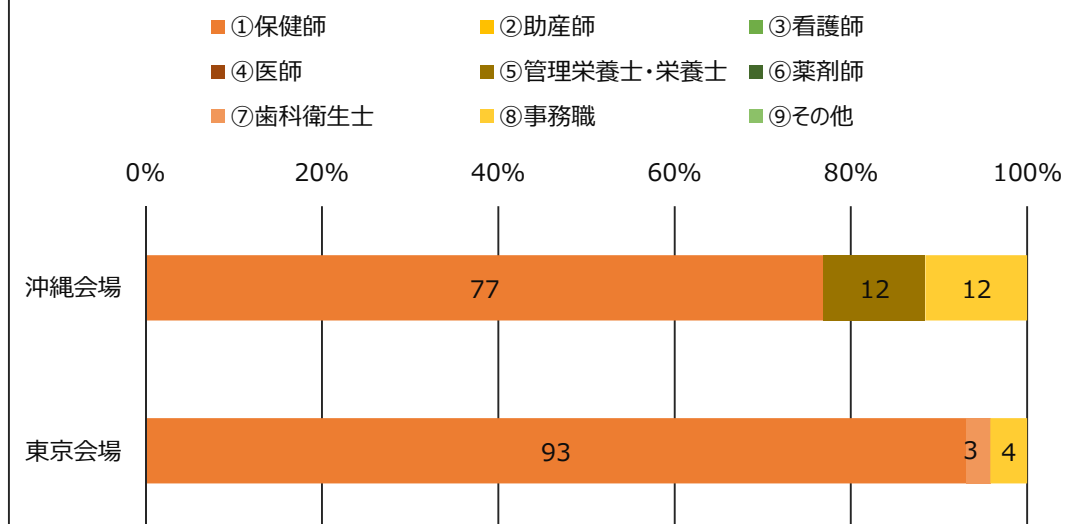
- ・クロス集計、ピボットテーブル…いつも聞いていた単語でしたが自分で実践するということを考えてなかったです。これからは市町村の計画にも活かしていけそうです。ありがとうございました。
- ・ピボットテーブルの使い方がわかりよかったです。持ち帰ってデータ分析に役立てたいと思います。
- ・ピボットテーブルでこんなに簡単に関連が分かるなら、自分の市町村の状況も、もっと分かるようになるな…と思いました。市町村で必ずしも同じ結果（因果関係）が出ないというのが面白かったです。イメージだけで決めつけてはいけなかったと思います。
- ・他自治体とのデータの傾向の差が見えて参考になりました。このような研修で機会をもらえると有難いです。最後の発表時、現在や今後の傾向、進展についてコメントを交えていただいたこと参考になりました。エクセルの使い方の説明（A M)のところはもう少し短時間にしてもらっても良かったです。
- ・「教えに勝る学習なし」の言葉のとおり、県として市町村への研修会などを通じて共に学びを深めていきたいと思いました。
- ・ちょうど乳幼児管理システムの更新をする事になり、どういった集計表をつくるのか検討しているところでしたので、参考になりました。地域の状況が読み解けるシステムにしたいと思います。ありがとうございました。
- ・今回の題目のわりに目標（修得技術）のレベルが低すぎる。ただのエクセル講座だった。午後の講義だけ役にたった。
- ・分かりやすい研修会でした。全国との比較ができるとよいのですが、今後に期待します。
- ・システムの利活用の方法、国や県との比較のファイルがあることを学べて良かった。母子保健計画の評価の際にも利用したいと思います。クロス集計を久々に行い、やり方を確認することができ良かったです。
- ・今後の事業や地域を見る際にとっても役立つ内容だった
- ・健やか親子は質問内容が過激なところもあり市民には「市としては活用しない」との内容で記入してもらっていましたが、本日の研修で分析する大切さを学ばせていただきました。
- ・今まで報告だけしていたデータを早速分析してみたいとやる気はでた。やってみてわからないこと等、また相談させていただければと思います。
- ・データの活用、エクセルの使い方、初心者なのでクロス集計など基本的なところから非常に勉強になりました。研修中の中だけでも、とても気になるデータが見られたので、今後の事業に反映されるよう、また活用していきたいと思いました。
- ・地方単位で研修があるといいと思いました。主要な都市など。
- ・母子保健において分析ってどうすれば…とっていましたが、少しその道筋が見えたと思えました。小規模の市ですが PHN 内で共有できる地域データとして活用できるようにしたいと思います。
- ・上司に言われての参加でしたが、とても良かったです。データを集めるだけで分析までできていなかったのも、月曜日から頑張ってみようと思います。全国とすぐに比較できるデータをダウンロードできることも知れて良かったです。
- ・乳幼児健診情報システムの活用方法について詳しく学ぶことができました。今後の事業評価、計画に反映させていきたいです。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・データを提出するために入力していましたが、もったいないと感じていました。活用のすべが分かり活用したいと思いました。
- ・データの扱い方が分かり、母子健康以外にも活かせそうです。また、推計量で良いんだと分かり、大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・集計したものの差をどう考えたらいいかと悩むことがありました。スッキリしました。
- ・Q6 分析の意義は理解していたため、演習を深めたかったです。職場で明日から深めます。解釈が正しいか不安が残ります。この研修でさらに医科と歯科を一つの目で見たいと思いました。ありがとうございました。
- ・実際に演習でデータ分析を使ってみることで今後のデータでもやってみようと思えました。ありがとうございました。
- ・パソコンを使っての実習はとてもわかりやすく楽しかったです。もう少し時間（2日間くらい）があるとより深められると思いました。とても良かったです。ありがとうございました。
- ・丁寧な講演でとてもわかりやすかったです。
- ・システム改修も2年後にあるので、健やか親子のデータをどう組入れるか目途が立ちました。今後の健康計画、評価にも役立てていきたいです。

- ・PCを一台使用し実際に操作ができたので、とても理解しやすかった。「解釈が大切」明日からの仕事に活かしていきたいと思いません。
- ・休日でしたがPCまで用意していただき本当に分かり易く参加して良かったです。たくさん先生がいてくださり学びが深まりました。
- ・他県、他市との比較ができれば活用の幅が広がりますし、評価の仕方も深みが出ると思うので是非、提供して頂きたいと思えます。いろいろと参考になりました。ありがとうございました。
- ・データの利活用は非常に重要である感じていたものの、なかなか着手できなかったが、今回効果的な方法を知ることができたので、現場で実践しようと思う。
- ・パソコン操作の演習の際、前方の大きな画面3つ見づらくてついついいけませんでした。
- ・講義と演習の両方から学ぶことができて良かったです。
- ・毎年、管内市町の母子健康データを保健所でまとめ会議で還元しています。今後の参考にさせていただきます。
- ・保健所管内の市町の健診データを分析し、還元する会議があり、どのようにデータを扱えばよいかのヒントになりました。また、普段から健診に関する市町村の保健師さんから「関係がありそう」と思われる項目を聞いたのも勉強になりました。
- ・毎年このような研修を開催して頂きたいです。毎年、自分の自治体から参加させます！我市の保健師の分析力、意識を変えていきたいと思えます。
- ・帰ってからもう一度、自分の市町村のデータ分析を試みようと思えました。ありがとうございました。
- ・エクセルのダウンロード等、市町村で制限がありできないこともあるため、今後使用できるよう改善していきたいと感じた。
- ・Q6検定等も学べるかと思っていたので。
- ・ありがとうございました。
- ・有意差とかの考え方が大切だと思っていたけど、違うことが驚きでした。
- ・実際データを用いて統計の分析にチャレンジしてみたいと思えます。ありがとうございました。
- ・講師の先生とパソコンのバージョンが一緒だとスムーズだったかなと思えます。
- ・職場でこのシステムはダウンロードされているものの、活用されておらず、職員もシステムを理解していないので学ぶことができてよかったです。日頃、業務に追われ、データ分析まで手が出せないのですが、このシステムを利用できると、分析がとても身近になると感じました。実践も交えていただいて理解が深まりました。
- ・ピポットテーブルで分析する方法がわかりとても良かった。
- ・県内市町村へシステムの利活用の重要性をより伝えていきたいと思う。
- ・グループワークでは自分の市町村のデータを持ってきている方とデモデータを使った人とで解釈（分析結果）が異なってくるので話し合いを進めづらかった。日々の業務に活かしていきたいと思えます。ありがとうございました。パソコン持参しないで済むので参加しやすく良かったです。
- ・研修会の案内が年度末ギリギリだったので、もう少し早めに案内があると参加しやすいと感じました。他市町村との比較するためにも県にしっかり研修して頂けると比較できるのにも思えます。
- ・色々な自治体の方々と話ができて良かった。データ活用した分析方法について知ることができ、今後の分析に活用したいです。
- ・データ分析の重要性を学び、そういった分析を入れることで自分たちも意欲をもって実務にあたれると感じた。住民対応が最優先なので都道府県、市町村データの公表等のサポートを国、県にしていただけるとありがたいと思えます。
- ・実際にパソコンを使って分かりやすかったです。どう使っていくかは考えなければいけないと思えます。
- ・管内の市町村からはまとまったデータしかもらえませんでした。個別のデータでもらえれば比較できるなと感じた。1 ケースを 3.4 ヶ月→1.6→3 歳と繋げてデータを取っている市町村は管内にはなく、報告目的になっている市町村が多いと感じます。そうではなく個別のデータの解析や軌跡として捕えることの重要性を伝え一緒に考えていければと思えます。
- ・小さな市町で母数が少ない対応なども教えていただき大変勉強になりました。職場に帰ってもう一度ゆっくり復習します。
- ・今、健診データを入力している段階です。今後、自分の市のデータを活かして研究とかもしていきたいと感じました。研究し、市民に必要な事業を検討していきたいです。少しだけエクセルと研究に興味がありました。現在のデータがあれば研究は始められると思っていたが、経年的にみることも個人に注目することも大切だと感じました。統計の深さ、難しさを感じました。

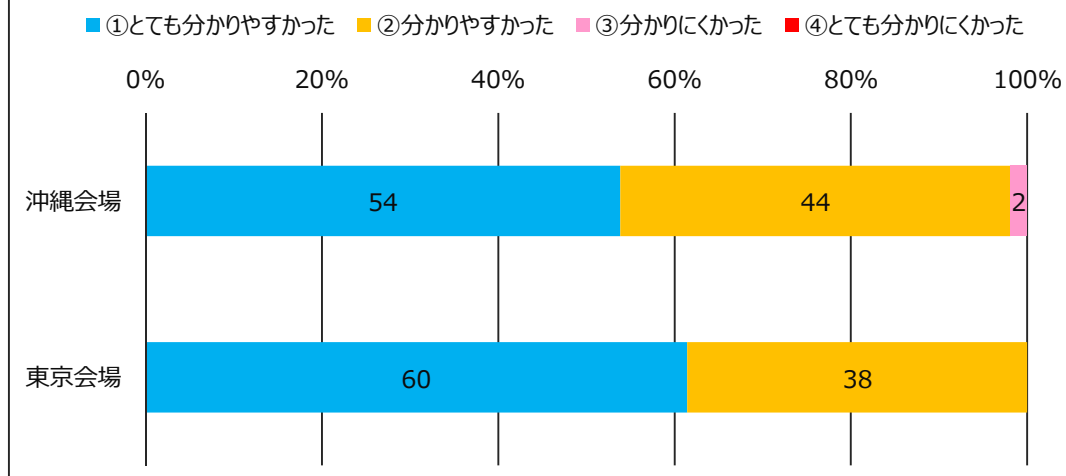
1. 所属機関



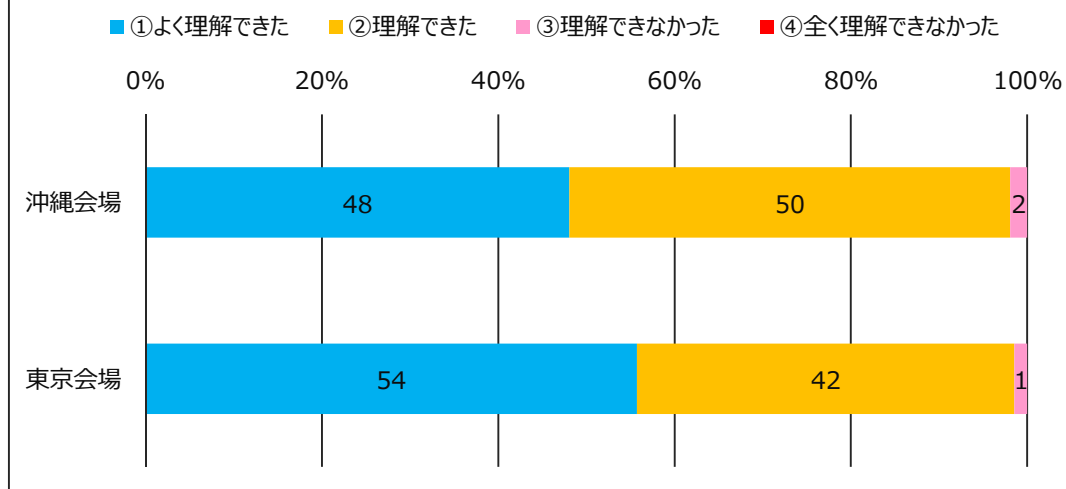
2. 職種



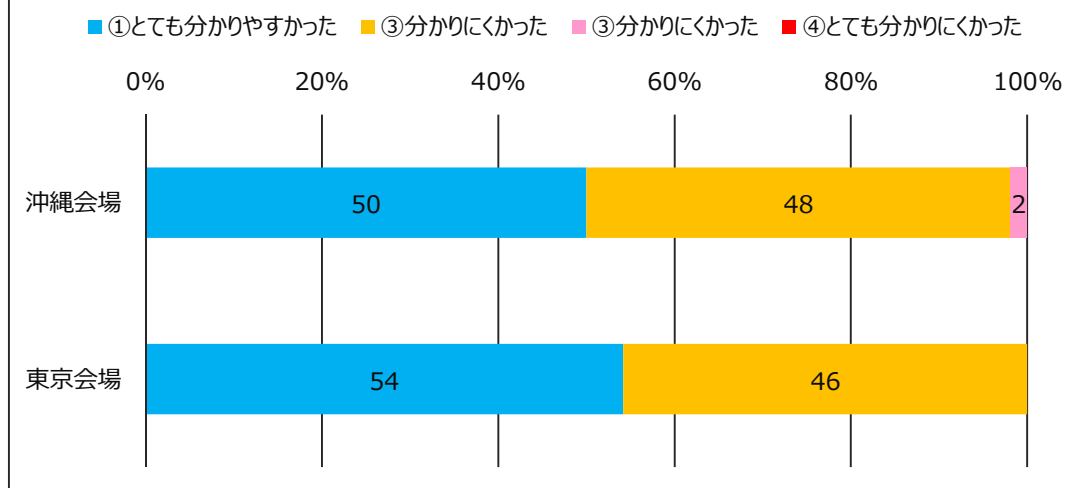
3-1. 講義「個人データを活用することのメリットとその意義」の話は分かりやすかったか？



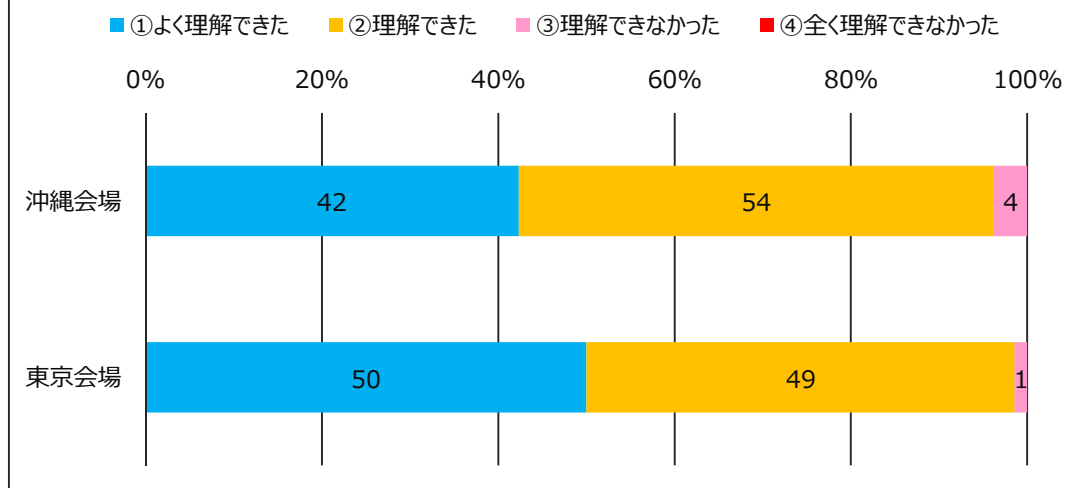
3-2. 講義「個人データを活用することのメリットとその意義」の内容は理解できたか？



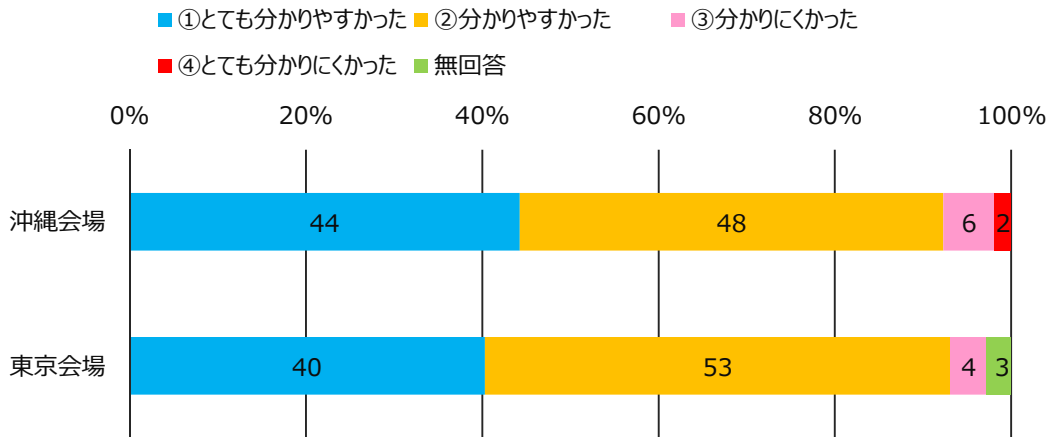
4-1. 演習「なぜ全国値や他の自治体との比較をする必要があるのでしょうか？」の内容は分かりやすかったか？



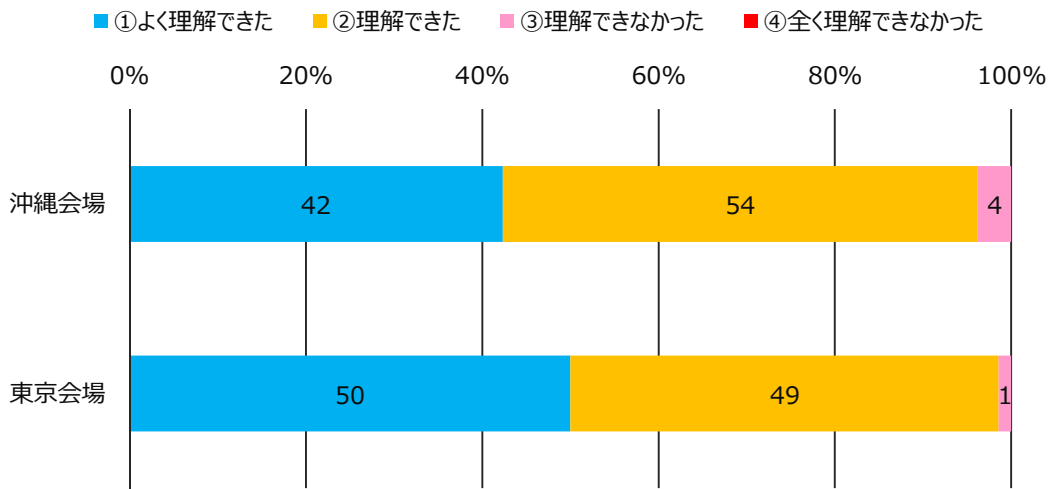
4-2. 演習「なぜ全国値や他の自治体との比較をする必要があるのでしょうか？」の内容は理解できたか？



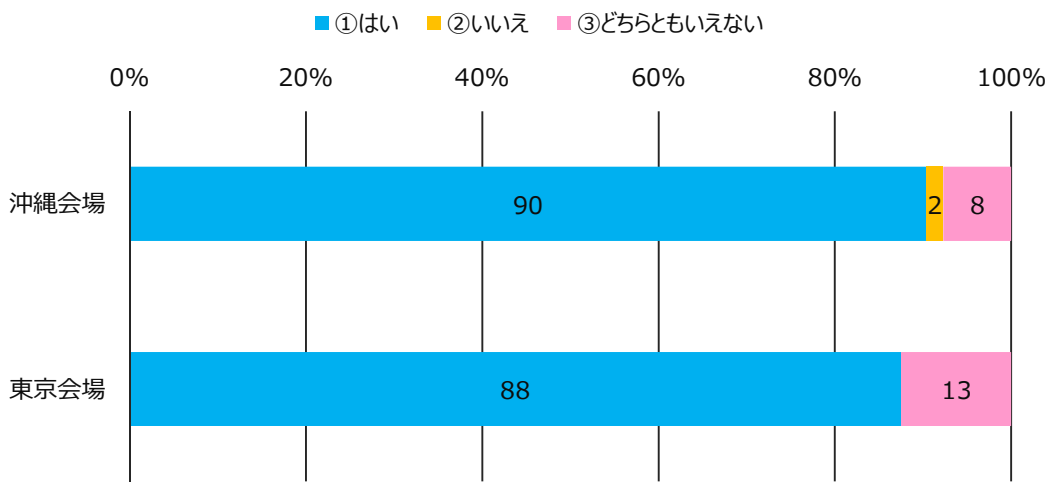
5-1. 演習「自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！」の内容は分かりやすかったか？



5-2. 演習「自分の自治体のデータを用いて自分の自治体の傾向を確認し、どんな課題があるのか調べてみましょう！」の内容は理解できたか？



6. 研修会で、あなたが学びたいと思っていたことを学ぶことができたか？



7. 本日の研修会で学んだ内容は、明日からの業務に役立つか？

